

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

## 3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～27	日 本 史	28～45
世 界 史	46～61	地 理	62～77
数 学	78～83		

## 〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. **数学**については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

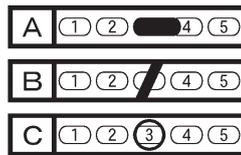
## 記入上の注意

1. 記入例 解答を**3**にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

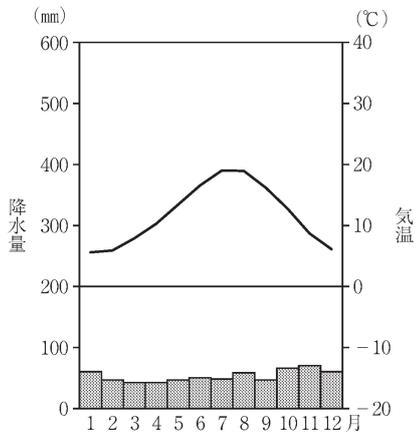
# (地 理)

〔 I 〕 気候環境に関するつぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。解答は解答欄に記せ。

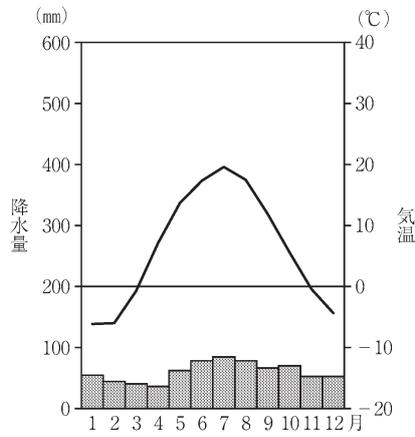
ドイツの気候学者ケッペンは、の違いは気候の違いを反映すると仮定して、すでに作成されていた世界の分布の模式図を用い、の境界線を気温や降水量などのの組み合わせと対応させた。対応させたの値を世界全図の上に落とし、気候区の境界とした。まず世界のをがあるところとないところに分けた。前者をさらに熱帯のの生育地域、温帯のの生育地域、冷帯のの生育地域に分け、それぞれの境界を最寒月平均気温℃以上、最暖月平均気温℃以上かつ最寒月平均気温℃以上℃未満、最暖月平均気温℃以上かつ最寒月平均気温℃未満と対応づけた。後者は、乾燥のためがない地域と、寒冷のためがない地域に分けた。乾燥のためがない地域は、それぞれの降水型に応じて、年降水量と年平均気温から値を求めた。寒冷のためがない地域は、最暖月平均気温℃未満と対応づけ、さらに最暖月平均気温℃を境界として2つの気候に区分した。  
仁科淳司『やさしい気候学(第4版)』により作成

問1 文章中の空欄～に入る語句や数値を解答欄に記せ。  
同じ記号には同じ語句や数値が入る。

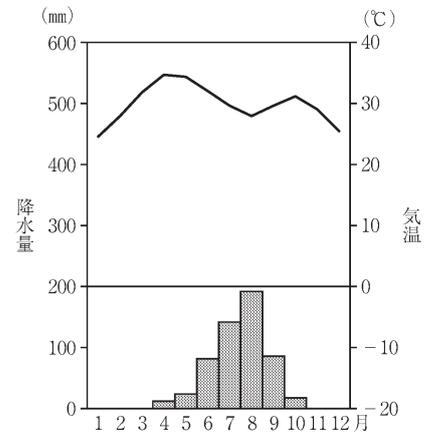
問2 次のA～Eの雨温図をみて、それぞれに該当する都市名を①～⑤から選び番号を解答欄に記せ。



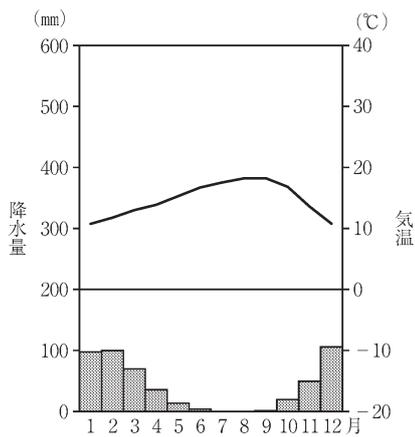
A



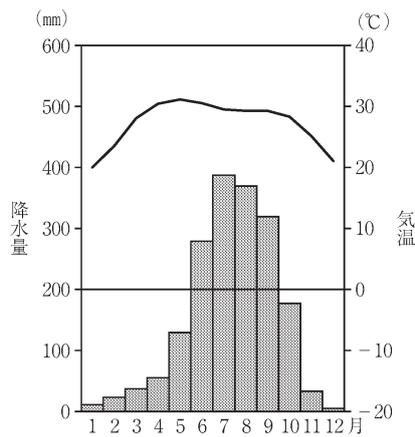
B



C



D



E

数値は1991～2020年平年値

- ① コルカタ
- ② サンフランシスコ
- ③ ニアメ
- ④ モスクワ
- ⑤ ロンドン

地理

問3 次の図1は仮想大陸におけるケッペンの気候区分の模式図である。この模式図から読み取れる気候的特徴を2点あげ、それぞれの特徴が生じている理由について解答欄の範囲内で説明せよ。ただし、緯度による日射量の違いのみに起因する特徴は除くものとする。

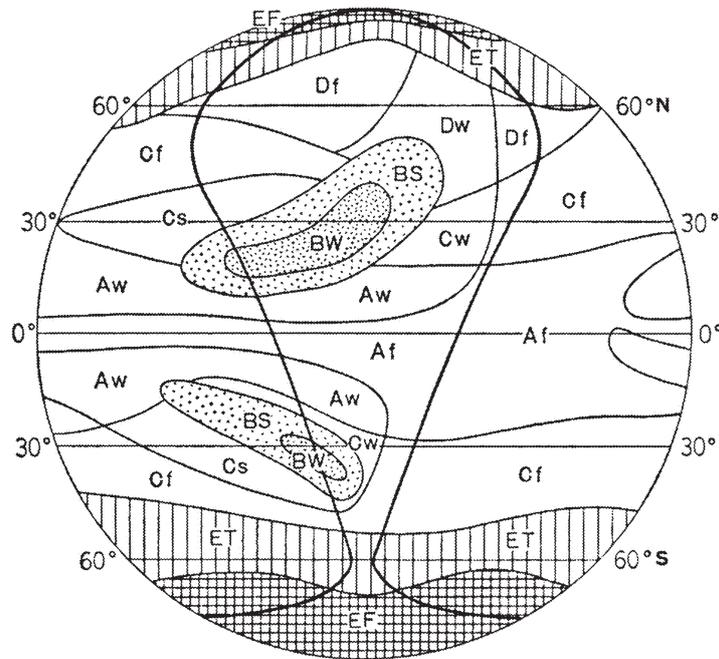


図1

福井英一郎編『自然地理学Ⅰ』による

問4 次の表1はある都市の月別平均気温および月別平均降水量である。表からハイサーグラフを解答欄にフリーハンドで作成せよ。

表1

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気温(℃)	5.4	6.1	9.4	14.3	18.8	21.9	25.7	26.9	23.3	18.0	12.5	7.7
降水量(mm)	59.7	56.5	116.0	133.7	139.7	167.8	156.2	154.7	224.9	234.8	96.3	57.9

数値は1991～2020年平年値

問5 表1で示された都市の気候の特徴について解答欄の範囲で説明せよ。

〔Ⅱ〕 世界の環境問題と地域開発に関する以下の問いに答えよ。解答は解答欄に記せ。

問1 アラル海の環境破壊に関するつぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。

アラル海はカザフスタンと  (首都タシケント)にまたがる湖である。面積では、1位カスピ海、2位  , 3位ヴィクトリア湖に次ぐ世界で4番目に大きい湖であった。ちなみに世界で最も多くの水を貯える淡水湖は  で貯水量は23兆m<sup>3</sup>である。面積1位のカスピ海は塩湖であり、貯水量は78兆2千億m<sup>3</sup>に及ぶ。

アラル海は砂漠の中であり、年間降水量は200mm未満である。水源は2,000km以上離れた山脈、高原であり、その水をアムダリア川、シルダリア川がアラル海まで運んでいた。しかし、旧ソ連時代に大規模な水資源計画が実施され、アラル海に流入する水が大幅に減少した。その結果、1960年代までは日本の  地方とほぼ同じ湖面積であったが、わずか半世紀で数分の1にまで干上がってしまった。20世紀最大の環境破壊と呼ぶ人も多い。

アムダリア川は  高原、ヒンドークシ山脈に源を発し、その主流は  (首都ドゥシャンベ)、アフガニスタン、トルクメニスタンを通り、 でアラル海に注いでいる。流量減少が著しく、現在、アムダリア川の流れる河口部でほぼ干上がっている。

一方、シルダリア川は  高原、テンシャン山脈に源を発し、その主流は  (首都ビシュケク)、 ,  を流れ、再び  を流れたあと、カザフスタンでアラル海北部に注いでいる。河口には三角州があり、湿地を形成している。

(1) 空欄  ～  に当てはまる国名を答えよ。

(2) 空欄  ～  に当てはまる湖名を答えよ。

## 地理

(3) 空欄  に当てはまる日本の地域名を次の選択肢①～④のうちから1つ選んで、その番号を答えよ。

- ① 沖縄                      ② 九州                      ③ 四国                      ④ 東北

(4) 空欄  に当てはまる高原名を答えよ。

問2 次の文章①～⑧は世界で発生する環境問題に関する説明である。これらのうちから適切なものを3つ選んで、その番号を答えよ。

- ① サハラ砂漠の北側に広がるサヘル地方は、典型的なステップである。人口増加に伴い、過放牧や過伐採が広範囲に行われ、不毛化する土地が急激に拡大する地域も見られる。
- ② 自動車や工場から排出された硫黄酸化物や窒素酸化物などが原因で、森林や建造物に酸性雨の被害が発生している。ドイツ北東部のシュヴァルツヴァルトで被害が深刻である。
- ③ 世界的に森林減少が続いており、原因の多くは商品作物のプランテーションなど人為的な要因であると考えられる。一方、中国では退耕還林・還草政策によって森林は大きく増加している。
- ④ 地球温暖化による大気中水蒸気の増加により、北極海の海水面積は拡大している。年間で最少となる9月の北極海の海水面積は21世紀に入ってから急速に増加傾向をたどっている。
- ⑤ 地表から15～30km上空の成層圏にオゾン層が存在する。1980年代前半、南極上空でオゾン濃度が著しく減少したオゾンホールが発見され、未だ原因が見つかっていない。
- ⑥ 都市部を中心に生じているヒートアイランド現象は、夏季において熱中症などの被害を発生させている。
- ⑦ 地球温暖化により、国土の大部分が低地のオランダやバングラデシュ、南太平洋に位置するモルディブなどでは、海面上昇によって国土が水没する危険が指摘されている。
- ⑧ 黄土高原など東アジア内陸の乾燥地域から飛来する黄砂は、日本にも環境問題をもたらしている。最近では微小粒子状物質(PM2.5)が国境を越えて飛ぶ現象が知られるようになった。

## 地理

問3 世界の水利用と環境問題に関する説明として誤っているものを，次の文章

①～④のうちから1つ選んで，その番号を答えよ。

- ① アメリカ合衆国西部のコロラド川は，1930年代にフーバーダムが建設されたことにより，河川流量が大幅に減少し，河川水の塩分濃度上昇問題が発生した。これにより下流のメキシコとの間で対立が発生し，対策が進められている。
- ② アメリカ合衆国のグレートプレーンズ中央部付近に存在するオガララ帯水層は，長らくアメリカ農業を支えてきたが，長年にわたる地下水の過剰利用により，水資源賦存量が急激に減少し，その持続的利用に不安が生じている。
- ③ 中国の長江に三峡ダムが建設され，膨大な発電量を生み出すとともに，南水北調事業により，大量の水がターリエンなど中国東北地方の諸都市に送られるようになった。しかし，歴史的建造物の水没やヨウスコウカワイルカの絶滅の危機など，深刻な問題を発生させている。
- ④ ジャカルタ，マニラ，ホーチミン等，東南アジアの主要大都市が水没の危機にある。急速な人口流入や工業化に伴う地下水の過剰な汲み上げで地盤沈下が加速し，近い将来，都市域の多くが海水面より低くなる都市が出ると予測されている。

問4 図1は2019年の主要国における二酸化炭素排出量と1人当たり排出量を示したものである。図中の1～nはカナダ、日本、フランスのいずれかである。1～nに当てはまる国名を答えよ。また、そのように判断した理由を答えよ。なお、解答欄内であれば、字数は問わない。

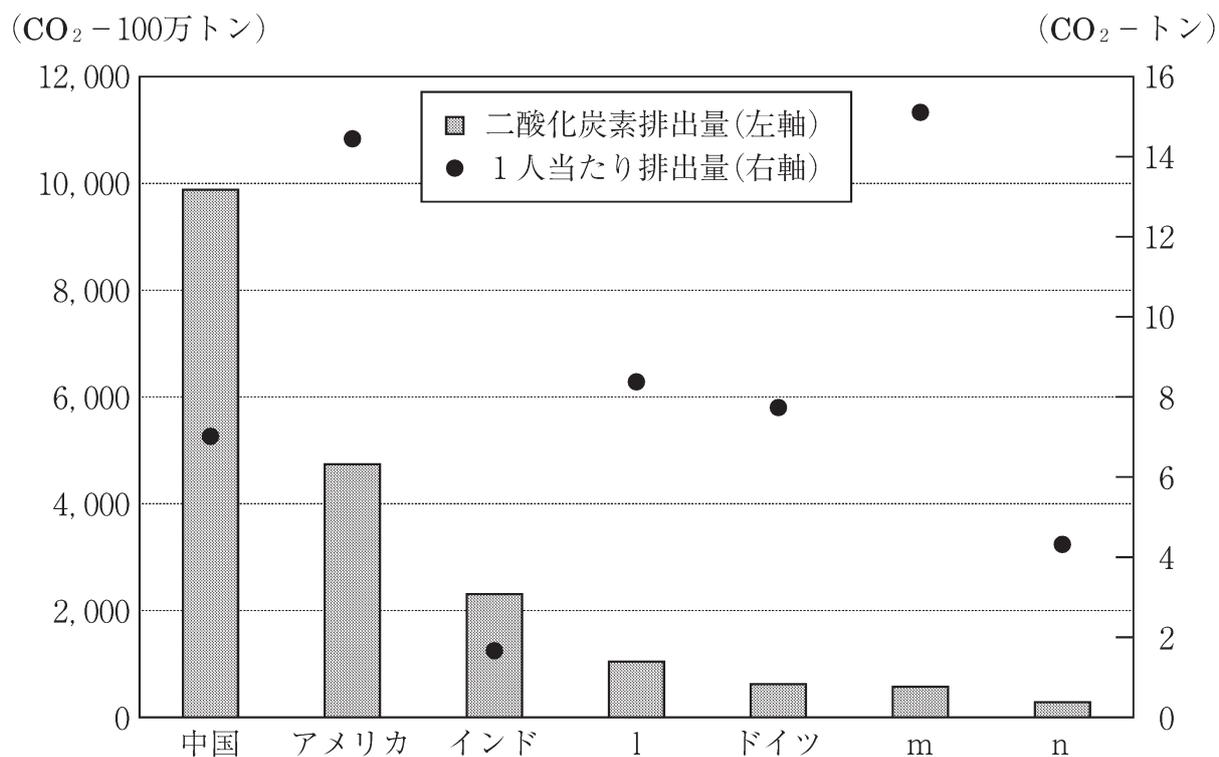


図1

『データブック オブ・ザ・ワールド 2023』により作成

## 地理

問5 世界の地域開発に関する説明として誤っているものを，次の文章①～④のうちから1つ選んで，その番号を答えよ。

- ① ユーロポートは新マース川河口部に位置し，世界最大級の石油化学工業地帯である。現在ではルール工業地域などを後背地にもつEUの玄関口になっている。
- ② 1960年代後半から設置された保税輸出加工区であるマキラドーラの多くは，NAFTAの設立まではメキシコとアメリカ合衆国の国境近くに位置し，電気・電子機器などの工場が多く進出した。
- ③ 中国は改革開放政策を進めるために，外国の資本や技術を導入するための経済的優遇措置を与えた経済特区を設置した。シェンチェン，チューハイ，スワトウなどが指定されている。
- ④ カリバダムはブラジル・パラグアイ国境に位置し，両国の共同出資，共同管理が行われている。世界最大規模の水力発電実績を誇る。

問6 古くからの土地造成方式として，海や湖沼などに堤防を築き，陸地を造成する干拓があり，世界的にはオランダのポルダーが有名である。一方，戦前並びに戦後の高度成長期に，わが国の東京湾や大阪湾などで盛んに埋立事業が行われてきた。干拓と埋立の違いについて，主な土地利用の違い，周辺水位の高さとの違いなどから説明しなさい。なお，解答欄内であれば，字数は問わない。

〔Ⅲ〕 移動に関するつぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。解答は解答欄に記せ。

ヒトの移動には通勤や通学などの日常生活に伴う移動や、転居を伴う生活拠点を移す移動がある。通勤や通学での移動は徒歩や自転車だけでなく、鉄道やバスなどの交通手段を利用する場合が多い。

<sup>(1)</sup> 転居を伴うヒトの移動については、期間によって永久的移動と一時的移動に、<sup>(2)</sup> 範囲によって国際移動と国内移動に分けて考えることができる。また、移動理由<sup>(3)</sup>も経済的理由や政治的理由、民族的理由、宗教的理由などさまざまな場合がある。

つぎに、モノを移動させるにはさまざまな方法で輸送を行う必要がある。輸送方法<sup>(4)</sup>は交通手段の発達や輸送技術の進歩に伴い時代が経るにしたがって発達して<sup>(5)</sup>きた。とりわけ、船舶輸送や航空輸送の発達により、大量のモノの移動が可能となった。

また、カネの移動については、どの主体間でカネが動くのかによって移動の方法や内容が異なる。たとえば、国際的なカネの移動では貿易や投資などによる移動<sup>(6)</sup>とともに、政府開発援助(O D A)における借款や資金協力による移動<sup>(7)</sup>もある。

## 地理

問1 下線部(1)に関し、表1は全国および東京都、鳥取県における従業・通学における交通手段の割合を表しており、表中のA～Dには「自家用車のみ」、「自転車のみ」、「鉄道・電車のみ」、「徒歩のみ」のいずれかが入る。A～Dに入る交通手段を答えよ。

表1 従業・通学における交通手段の割合

単位：%

従業地・ 通学地 交通手段	全国		東京都		鳥取県	
	自市区 町村	他市区 町村	自市区 町村	他市区 町村	自市区 町村	他市区 町村
A	53.8	41.8	9.7	8.2	72.2	84.6
B	15.8	4.1	32.8	4.9	10.3	1.8
C	13.4	0.8	26.4	1.1	8.5	0.6
D	3.8	31.1	13.0	62.3	1.0	4.5
その他	13.2	22.2	18.2	23.4	8.0	8.5
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

国勢調査(2020年)により作成

## 地理

問2 下線部(1)に関し、表2の①～④における飛行機による移動の中で、目的地への到着時刻(目的地の現地時間)が他の3つとは異なる移動を1つ選び、番号で答えよ。なお、標準時間帯とは異なる独立時間帯やサマータイム制度は導入されていないものとする。

表2 飛行機による移動

	出発地			飛行所要時間	目的地	
	都市	標準時間帯の基準となる経度	出発地での出発時刻		都市	標準時間帯の基準となる経度
①	東京	東経135度	2024年2月5日午前9時00分	6時間	チョンチン	東経120度
②	東京	東経135度	2024年2月6日午前4時00分	7時間	ホノルル	西経150度
③	メキシコシティ	西経90度	2024年2月4日午前8時30分	14時間30分	東京	東経135度
④	パリ	東経15度	2024年2月4日午後4時30分	13時間30分	東京	東経135度

注：表中の「標準時間帯の基準となる経度」とは、「出発地」および「目的地」の該当都市が含まれる標準時間帯の基準となる経度を表している。

## 地理

問3 下線部(2)に関し、表3は期間と範囲に基づく人口移動の4類型を表している。表中のE～Hの人口移動類型がそれぞれ下記の①～④のどの人口移動に該当するのか、番号で答えよ。

表3 人口移動の4類型

範囲 期間	国際移動	国内移動
永久的移動	E	F
一時的移動	G	H

<4つの人口移動>

- ① 清酒醸造技術者である杜氏の移動。
- ② 1620年のメイフラワー号による清教徒の移動。
- ③ 技能実習制度に伴う実習生の移動。
- ④ 1800年代後半における屯田兵としての移動。

問4 下線部(3)に関し、下記のIおよびJに関する人口移動について、それらの人口移動の理由や内容、特色について答えよ。なお、解答欄内であれば字数は問わない。

I：インドシナ難民      J：シオニズム運動

問5 下線部(4)に関し、表4は航空輸送、自動車輸送、船舶輸送、鉄道輸送における国内旅客輸送量(人キロベース)の分担率(a)と国内貨物輸送量(トンキロベース)の分担率(b)を表している。表中のK～Nに該当する交通機関をそれぞれ答えよ。なお、同一の記号は同じ交通機関を表している。

表4 交通機関ごとの国内旅客輸送量(人キロベース)と国内貨物輸送量(トンキロベース)の分担率

(a)国内旅客輸送量の分担率(%)

年度	K	L	M	N	合計
2005	75.9	7.2	16.1	0.8	100.0
2010	77.7	7.2	14.6	0.6	100.0
2015	76.5	7.1	15.8	0.6	100.0
2020	82.9	6.7	9.9	0.5	100.0

(b)国内貨物輸送量の分担率(%)

年度	K	L	M	N	合計
2005	4.9	49.1	0.2	45.8	100.0
2010	4.6	54.7	0.2	40.5	100.0
2015	5.3	50.2	0.3	44.3	100.0
2020	4.7	55.3	0.1	39.8	100.0

令和4年版『交通政策白書』により作成

注1：旅客の自動車輸送は乗合バスとタクシーを合算した値であり、貨物の自動車輸送は自家用トラックと営業用トラックを合算した値である。

注2：各項目の数値を四捨五入しているため、総和は100%にはならない場合がある。

問6 下線部(5)に関し、ヨーロッパでは内陸水路が発達し、河川交通の利用が活発である。ヨーロッパの内陸水路が発達した理由を自然環境の側面から答えよ。

地理

問7 下線部(6)に関し、図1は日本の主な貿易相手国・地域の輸出入総額の推移(1979年～2021年)を表している。図中のO～Rにはオーストラリア、台湾、中国、ベトナムのいずれかが入る。O～Rに当てはまる国名・地域名をそれぞれ答えよ。

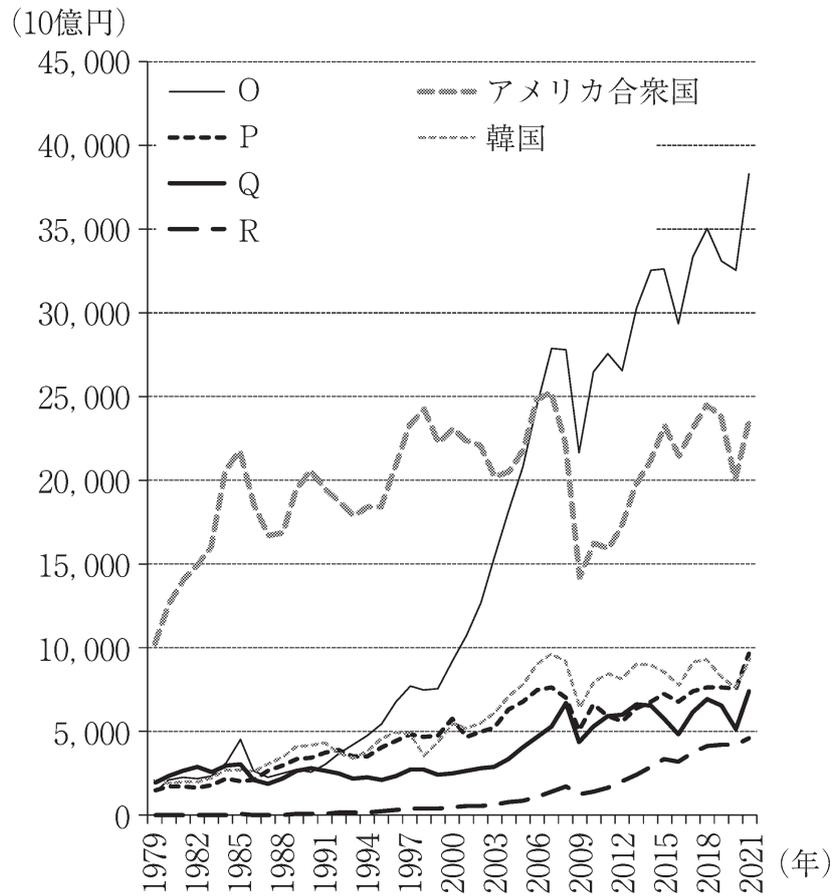


図1 日本の主な貿易相手国・地域の輸出入総額の推移(1979年～2021年)

財務省貿易統計により作成

地理

問8 下線部(7)に関し、図2は2019年における地域別の主要援助国(上位4か国)による援助実績の割合(%)を表している。図中のS～Vにはアメリカ合衆国、ドイツ、日本、フランスのいずれかが入る。S～Vに当てはまる国名をそれぞれ答えよ。

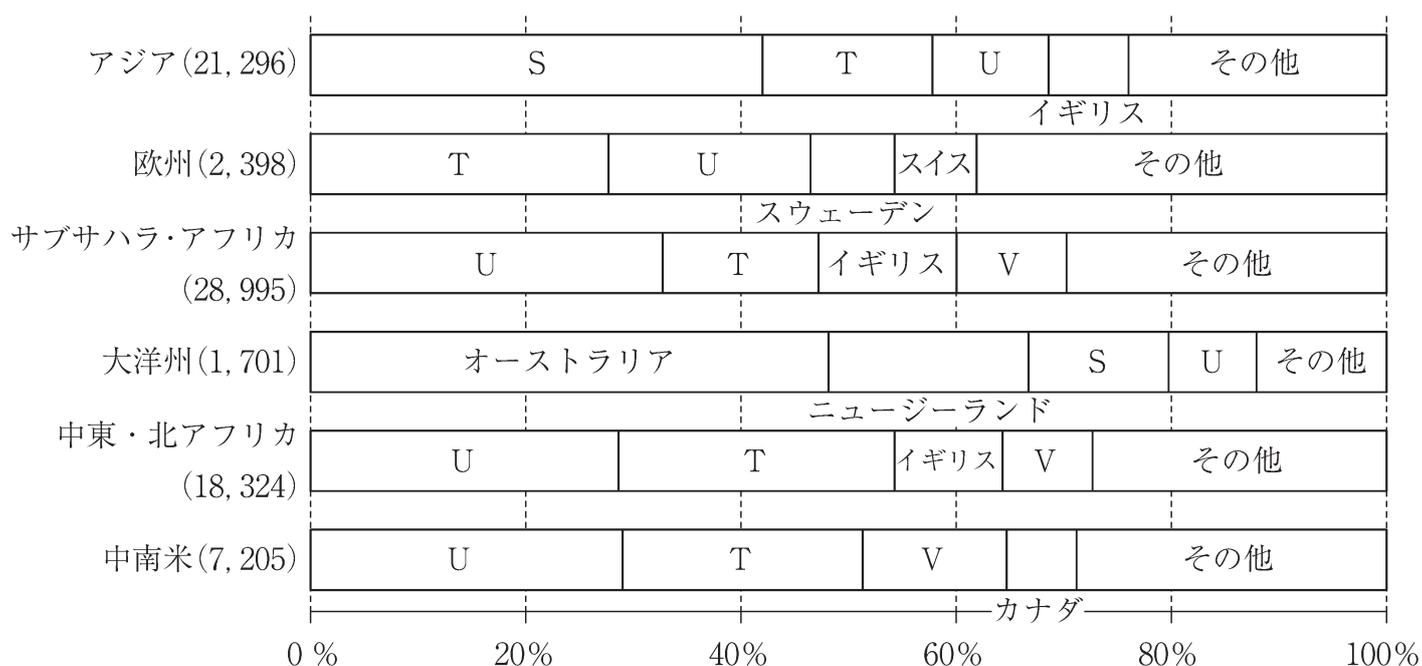


図2 地域別の主要援助国(上位4か国)による援助実績の割合(2019年)

『開発協力白書』(2021年版)により作成

注1 : 支出総額ベースの値。

注2 : 地域名の後ろの( )の数値は、その地域に対する主要援助国の援助金額総計(単位:百万ドル)を表している。